

調査結果のポイント

～令和元年度 保土ヶ谷区 防災・地域福祉保健アンケート～

アンケート概要

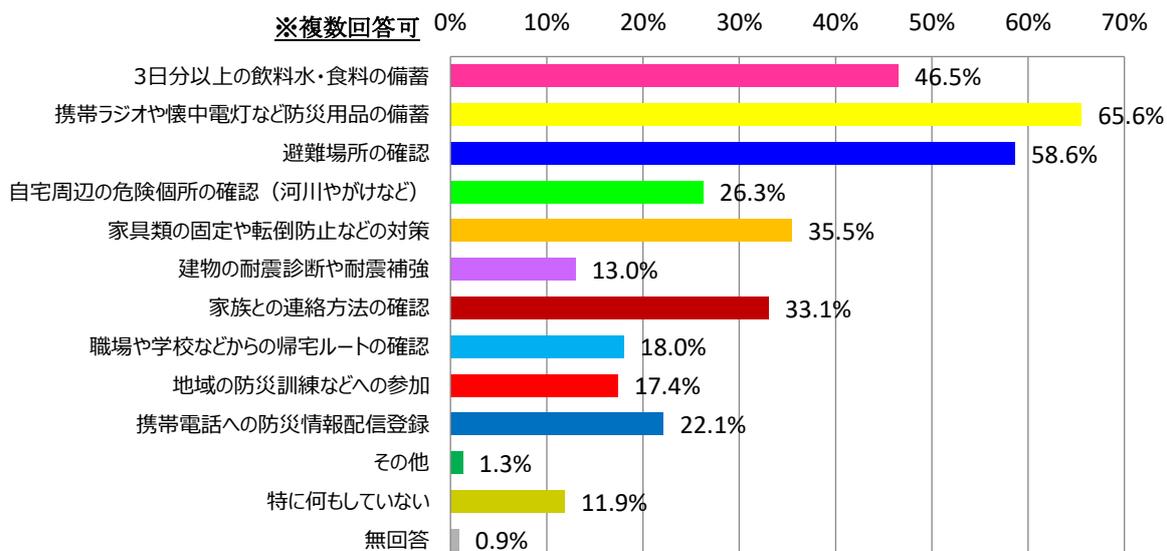
- ・調査地域 保土ヶ谷区内全域
- ・調査対象 区内に居住する18歳以上の男女4,000人(外国籍含む、無作為抽出)
- ・抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- ・調査方法 調査票の郵送(配布・回収)による自記入方式
- ・調査期間 令和元年5月31日～6月28日
- ・回収結果 有効回答者数1,794人、有効回答率44.9%
- ・構成 防災に関する質問13問、地域福祉保健に関する質問17問、回答者の属性で構成

ポイント①【防災】

災害に備えて準備していること

ほとんどの人が何らかの災害への備えを実施、何もしていない人は約1割

- ・「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の備蓄」(65.6%)、「避難場所の確認」(58.6%)、「3日以上の飲料水・食糧の備蓄」(46.5%)などの手軽に行うことができる内容の回答が多い結果となりました。
- ・一方、「職場や学校などからの帰宅ルートの確認」(18.0%)、「地域の防災訓練などへの参加」(17.4%)など、実際に時間を割いて確認・実施が必要な内容を回答した人は、少ない結果となりました。

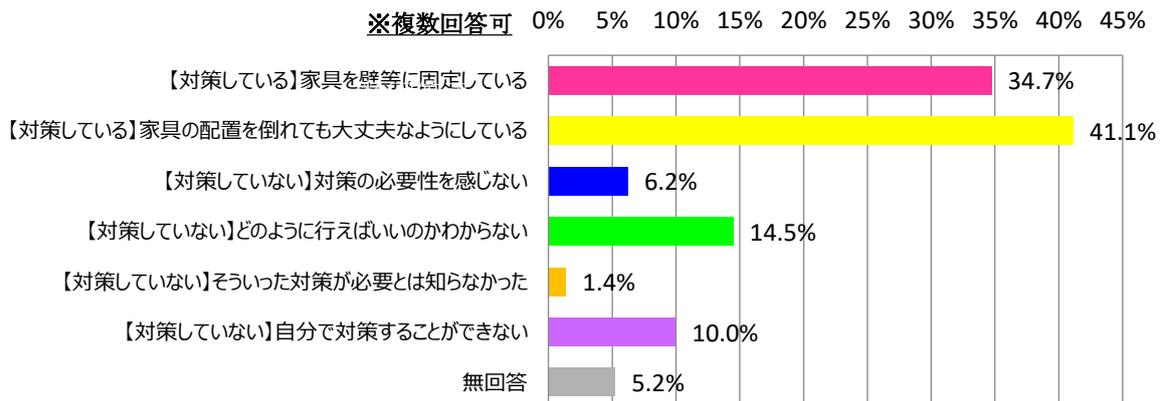


ポイント②【防災】

「家具転倒防止」対策について

家具を壁等に固定して対策を行っている人は約3割

- ・【対策をしている】の回答については、「家具を壁等に固定している」が34.7%、「家具の配置を倒れても大丈夫なようにしている」が41.1%であり、実際に家具が転倒しないようにしている人は3人に1人程度にとどまりました。
- ・【対策をしていない】の回答の中では、「対策の必要性を感じない」(6.2%)、及び「対策が必要とは知らなかった」(1.4%)は少なく、「どのように行えばよいかわからない」(14.5%)、「自分で対策することができない」(10.0%)など、必要性は感じているができていないという回答が多く見られました。

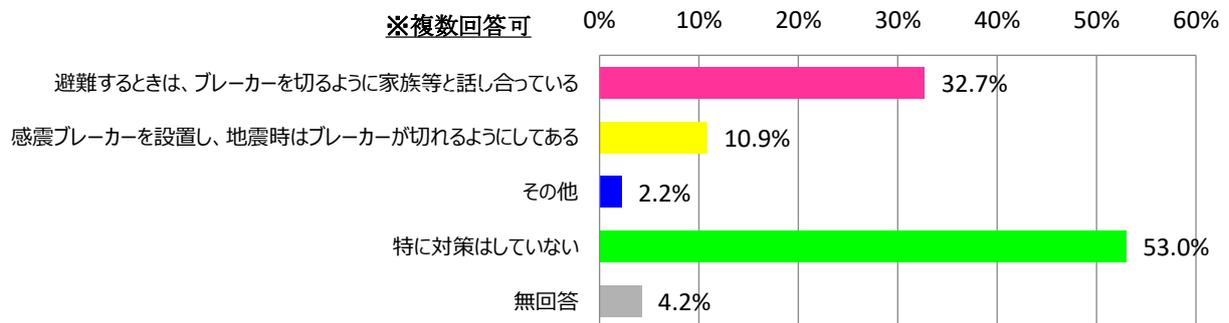


ポイント③【防災】

「通電火災」を防ぐための対策について

感震ブレーカーを設置して対策を行っている人は約1割とまだ少ない

- ・「避難するときは、ブレーカーを切るように家族等と話合っている」と回答した人は32.7%となっており、約3人に1人が家族と話合っていますが、実際に感震ブレーカーを設置して対策している人は10.9%と、約10人に1人にとどまる結果となりました。
- ・一方、「特に対策はしていない」と回答した人は53.0%と、約半数にのぼっています。



～ポイント①②③～ 今後の対応方針

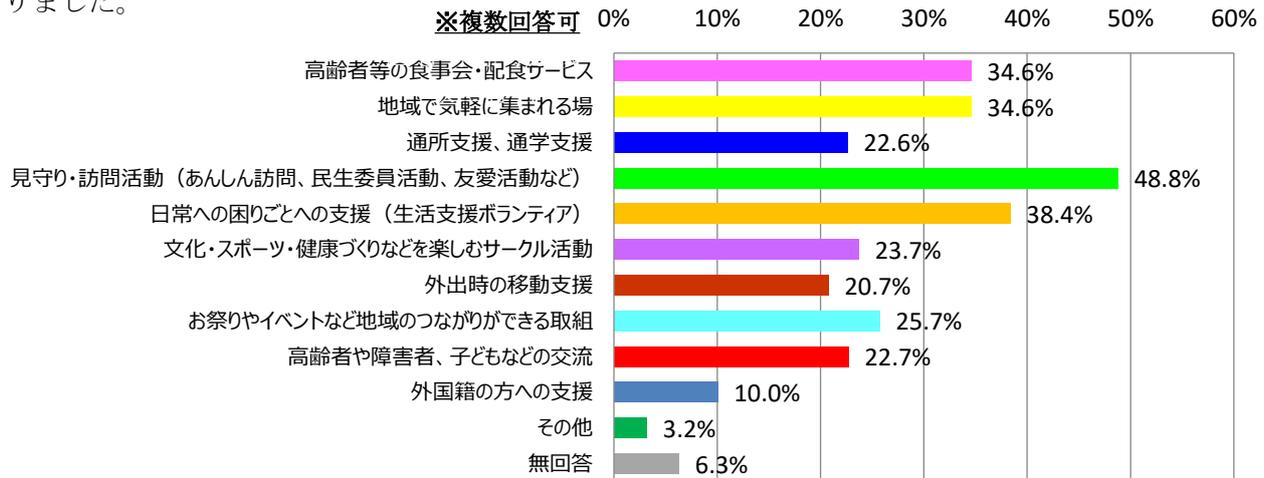
東日本大震災から8年が経過し、前回調査に比べ、災害への備えについて「特に何もしていない」との回答が増加するなど、防災への関心が薄れてきています。備蓄や避難場所の確認等の他、自宅で対策が可能な感震ブレーカーの設置や家具転倒防止など、自助のさらなる啓発に、様々な団体・事業者などと連携して取り組みます。

ポイント④【地域福祉保健】

今後地域の中で充実して
いくと良いと思う活動

「見守り・訪問活動」と回答した人が約5割と最も多い

- ・「見守り・訪問活動」(48.8%)と回答した人が最も多く40～60歳代での回答が多く見られました。その他には、「日常への困りごとへの支援(生活支援ボランティア)」(38.4%)、「高齢者等の食事会・配食サービス」(34.6%)、「地域で気軽に集まれる場」(34.6%)について、回答が多く見られました。
- ・また、地域での交流に関することでは、「お祭りやイベントなど」と回答した人は29歳以下、30歳代など若年層に多く、「地域で気軽に集まれる場」と回答した人は、60歳代以上の年齢層に多い結果となりました。

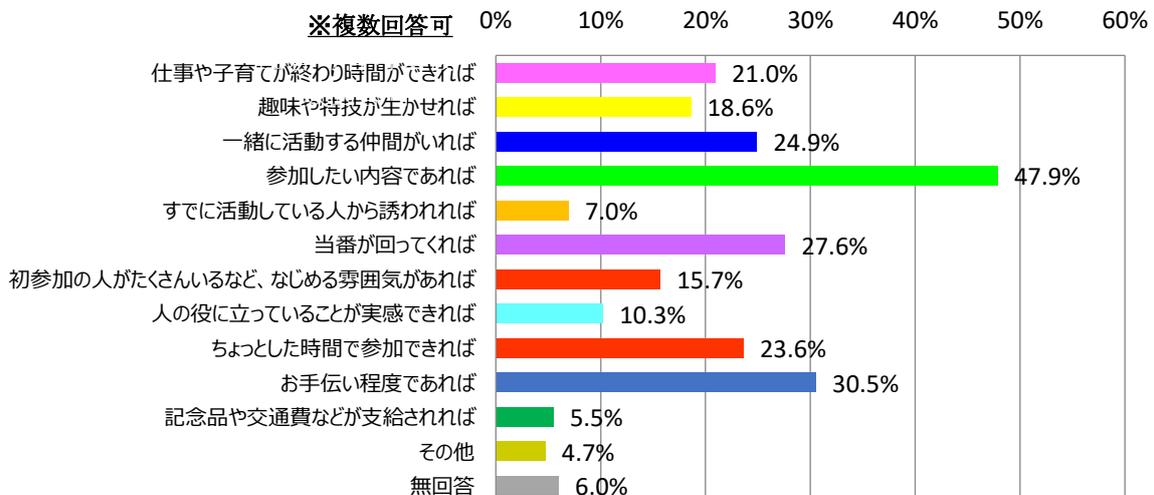


ポイント⑤【地域福祉保健】

地域活動へ参加しようと
思う条件

「参加したい内容であれば」と回答した人が約5割と最も多い

- ・「参加したい内容であれば」が47.9%と非常に多く、次いで「お手伝い程度であれば」(30.5%)、「当番が回ってくれば」(27.6%)、「一緒に活動する仲間がいれば」(24.9%)の順となり、地域活動へ参加しようと思う条件は、内容や気軽さによるという回答が多く見られました。



～ポイント④・⑤～
今後の対応方針

コンサルティング業者による回答者の属性を踏まえた分析を行い、第4期保土ヶ谷ほっとなまちづくり(地域福祉保健計画)策定に活用します。

ポイント⑥【属性】

自治会町内会へ
加入しているか

約8割が加入していると回答

・加入しているが81.9%、「加入していない」が16.7%であった。

無回答1.4%



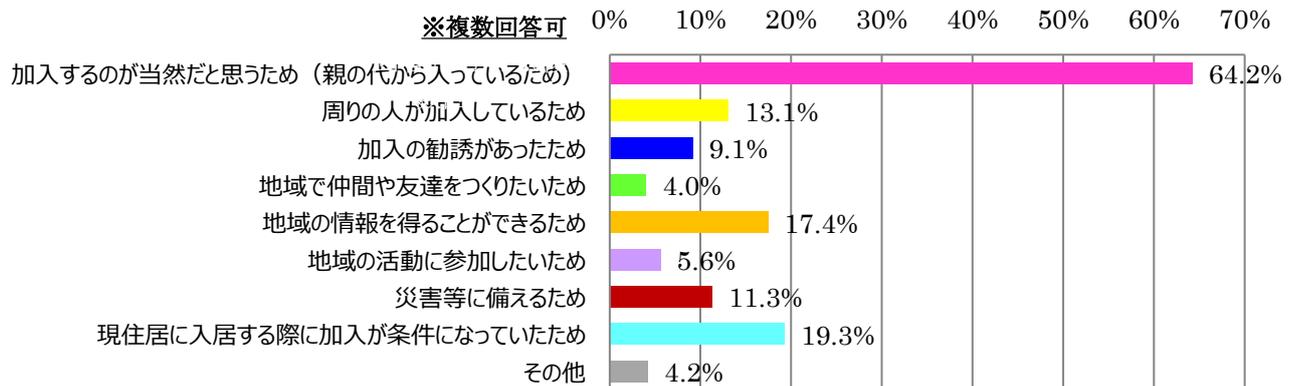
ポイント⑦【属性】

自治会町内会への加入・
未加入の理由

加入の理由は、「加入するのが当然と思う」が約6割と最も多く、
未加入の理由は、「ほとんど家におらず、活動できない」が最も多い

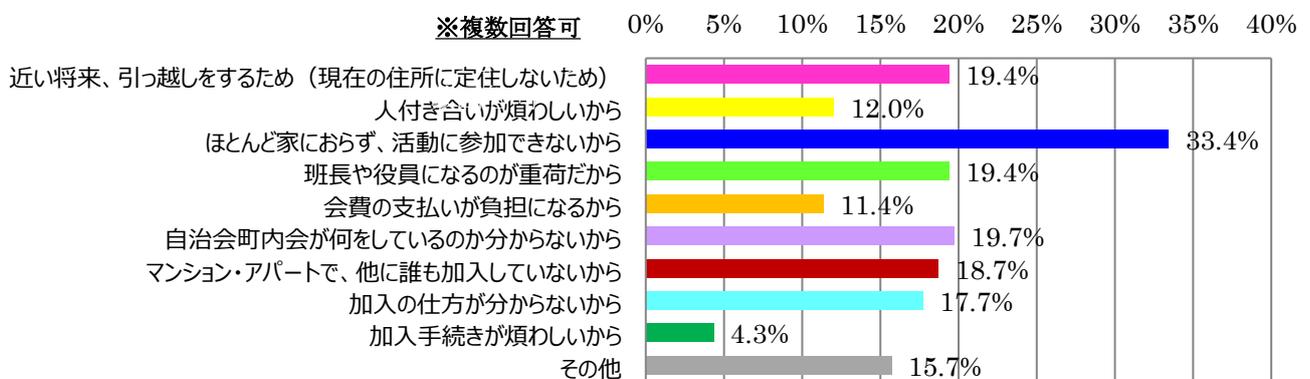
【自治会町内会に加入した理由】

- ・「加入するのが当然だと思うため（親の代から入っているため）」が64.2%と最も多い。
- ・他には「現住居に入居する際に加入が条件になっていたため」が19.3%、「地域の情報を得ることができるため」が17.4%と多い。



【自治会町内会に未加入の理由】

- ・「ほとんど家におらず、活動に参加できないから」が33.4%と最も多い回答となった。
- ・他には、「自治会町内会が何をしているのか分からないから」、「近い将来引っ越しをするため」や「班長や役員になるのが重荷だから」がそれぞれ約20%程度で続いている。



～ポイント⑥・⑦～
今後の対応方針

「自治会町内会が何をしているのか分からない」「加入の仕方が分からない」「加入手続きが煩わしい」という世帯に向けて、自治会町内会の活動や加入方法について、広報を強化していく必要があります。